

自己評価報告書(最終報告)

報告者

現代教育課題総合コース
／太田 直也

■平成24年度の目標に対する自己点検・評価

I. 学長の定める重点目標

I-1. 科研費申請に向けた計画等

国立大学法人運営費交付金は年々削減され、教員の研究費配分も厳しくなっており、教員各自が研究のための外部資金を獲得しなければならない状況である。そこで、科研費申請に向けて、あなたが考えているテーマと計画等について示してほしい。

1. 目標・計画

文学と文化それぞれについて考えているが、報告者にとって極めて重要なテーマであるため詳細についてはここに記すことはせず、大雑把なタイトルだけを記すに留める。

1. デイラントマスと第二次大戦
2. ウェールズにとってのイングランド

2. 点検・評価

年度初めに掲げた二つのテーマのうち、特に第1点目に関しては資料収集の半ばで中断せざるを得ない状況にあった。改めて次年度に申請にこぎつけたいと考える。第2点目については申請以前にそれなりの成果を挙げたため、既に発表した。

I-2. 大学院学生定員の充足に向けた取り組み

専攻・コースのこれまでの大学院学生定員の充足状況を踏まえた上で、あなたは定員充足のためにどのような取り組みを行うか、具体的に示してほしい。

1. 目標・計画

これまで他大学の教員、あるいは事務職員を通じて「草の根運動」的に本学の「宣伝」を行ってきた。今後もこの活動は続けてゆく。即効性のある「宣伝活動」があるのであれば関与してゆくつもりであるが、そのような活動が存在しない以上、時間をかけ地道に活動してゆくと愚行する。

2. 点検・評価

今年度も「草の根運動」は継続した。実際に受験・入学した大学院生がいることから、一定の成果を収めたものとする。

II. 分野別

II-1. 教育・学生生活支援

1. 目標・計画

- ・文化論の授業においては受講者の発表の指導を重視する。
- ・英詩に関しては英語教育における英詩の効用を再考する。
- ・前年度に引き続き日本語表現については力を注ぐ。
- ・院生・学生の課外活動には可能な限り協力する(主としてふれあいアクティビティーと軽音楽部)。
- ・学生の相談にはオフィス・アワーとは関係なく常に真摯に対応する。

2. 点検・評価

- ・可能な限り受講生の発表の機会を設け、プレゼンテーションの方法についてもアドバイスを与えた。
- ・英詩のリズムについての解説は丁寧に行った。・レポートを書かせるだけでなく、可能な限り丁寧に添削した。
- ・院生・学生の課外活動には可能な限り協力した(主としてふれあいアクティビティーと軽音楽部)。
- ・学生の相談にはオフィス・アワーとは関係なく常に真摯に対応した。

II-2. 研究

1. 目標・計画

- ・ディラン・トマスにとってのウェールズの意味について考察し、論文を記す。
- ・ディラン・トマスにとっての第二次大戦について考察する。
- ・イギリスの文化について雑文を記す。
- ・現在行っている都市論の翻訳を継続する。

2. 点検・評価

- ・ディラン・トマスにとってのウェールズの意味について考察し、論文を記した。
- ・ディラン・トマスにとっての第二次大戦については資料収集の段階にとどまった。
- ・イギリスの文化については2冊の出版に関わった。
- ・都市論の翻訳を継続し、次年度中に発刊の予定である。

Ⅱ-3. 大学運営

1. 目標・計画

専攻長、コース長としての責務を全うする。特にコースの民主的運営には力を尽くす。

2. 点検・評価

専攻長、コース長としての責務を全うしたつもりである。

Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

1. 目標・計画

- ・東日本大震災の被災者及び被災地に対する支援は継続する。
- ・主として関西ウェールズ会と日本カムリ学会を通じてウェールズ文化研究を支援する。

2. 点検・評価

- ・東日本大震災の被災者及び被災地に対する支援は継続した。
- ・主として関西ウェールズ会と日本カムリ学会を通じてウェールズ文化研究を支援した。
- ・附属中学校のLFタイムに参加した(9月)。

Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)

専攻長、コース長、各種委員として出来る限りの努力はしたつもりである。とりわけ「インターネット大学院」開設と人事に関しては全力を尽くしたと自負している。